

生まれ変わった母校にエール

閉校して3年になる私の母校。4月から「県立吉川高等特別支援学校」として生まれ変わった。就職や生活の自立に向けて学ぶ生徒たちの設備が整えられている。校内には「地域交流室」として旧吉川高校の歴史の品が置かれていることもうれしい。

新しいデザインの、紺色ブレザーを着た生徒たちの明るい声と、学校のチャイム、体育館のボールの音が以前のように校舎に戻ってくるだろう。

閉校してから暗くなりかけていた校舎は、改修工事をしている間はシートに覆われていたが、工事が終わり、目に飛び込んできたのは、かわいらしいオレンジ色の校舎。そこだけ春が来たような驚きを感じた。

そのやさしいオレンジ色の校舎は、今年の豪雪や、東日本大震災でつらい事がありすぎた私の心を、温かくしてくれた。私は繊細な生徒たちとの接し方は分からない。でも地域の人たちは、気持ちの温かい人ばかりだ。ゆっくり生徒たちと触れ合って、みんなの元気をもらえたらと思う。

さあ校舎の脇に立つ、私のお気に入りの大きな桜の木よ。今年の大雪に負けることなく、枝も折れずに無事に冬を乗り越えたのだから、今はまだつぼみでも、これからは新1年生と一緒に、たくさんの花を咲かせてほしい。

自営業

吉田 加代 (49)

上越市